

THE GLOBAL YEN BORROWERS



INVESTORS FORUM

16 September, 2009 • Okura Hotel, Tokyo

景気回復期のナビゲーション

2009年9月16日 水曜日

09.00-10.00	受付開始	オーチャードルームのロビー (南館 2階)
すべての本セッションはオーチャードルームで行われます。		
10.00 - 10.10	開会挨拶: ユーロマネー・コンファレンス、マネージング・ディレクター、アジア太平洋担当、 ニック・ヘイワード氏	
10.10 - 11.25	<p>パネル I: 日本、流動性、リスク、ボラティリティ: 金融危機以降の環境の考察</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の発行体にとって日本は依然として流動性の高い魅力的な資金源か? 数年前との比較は? 海外の借り手にとってサムライ債、ユーロ円債市場の魅力とは? 危機前のように多様なクレジット商品が戻ってくるのか? それとも高格付けの債券のみが復活するのか? リスク商品への需要は高まっているのか? 日本と海外の格付けシステムの主な相違点は何か? それは近い将来融合するのか? ブランド力はどれほど重要か? 認知度の低い発行体にとっての機会とは? <p>議長: ユーロウィーク、アジア担当エディター、ステファン・ガートン氏 ユーロマネー・コンファレンス、エディター、マーク・ジョンソン氏 講演者: ドイツ復興金融公庫、シニア・ヴァイス・プレジデント、トレジャラー、フランク・チコウスキー氏 米州開発銀行、トレジャラー、ソーレン・エルベック氏 世界銀行、ディレクター、資本市場グローバル・ヘッド、ドリス・エレラ・ポル氏 アフリカ開発銀行、チーフ・トレジャリー・オフィサー、サンディーブ・ジェイン氏 欧州投資銀行、ヘッド・オブ・ファンディング - アメリカおよびアジア太平洋担当、エイラ・クレイヴィ氏</p>	
11.25 - 11.55	休憩	メイプルルーム I (南館 2階)
11.55 - 13.10	<p>パネル II: 欧州エージェンシー</p> <ul style="list-style-type: none"> 欧州機関債への投資家の需要はどのように変化したか? 未曾有の世界不況に対処するため債券発行を増やしている各国政府にとって、日本の投資家へのアクセスは重要になったのか? 世界の一流機関の債券発行計画において日本の投資家層が果たす役割とは? それは今後 2 年間でどう変化するのか? 円 LIBOR とドル LIBOR のスプレッド比較するとどうか? 日本は安価な資金調達源か? それはいつまで続くのか? ドル円とユーロスワップ市場の見通しは? 円・ドル・ユーロ市場の現状は、日本での供給が継続することを示唆しているか? 新規発行の流れに水を差すような要因はあるのか? 日本での起債需要はどれほどか? 欧州の銀行による日本市場での調達を奨励するため、どんな措置が取られているのか? 信用格付けと規制・監督機関をめぐるグローバルな議論はサムライ債市場にどんな影響を与えうるか? <p>議長: ユーロマネー・コンファレンス、マネージング・ディレクター、アジア太平洋担当、ニック・ヘイワード氏 ブルームバーグ、アジア太平洋担当・コラムニスト、ウィリアム・ペセク氏 講演者: スウェーデン輸出信用銀行、エグゼクティブ・ディレクター、CFO&ヘッド・オブ・キャピタル・マーケット、パー・エイカーリンド氏 オランダ自治体金融公庫、ヘッド・オブ・ファンディング&インベスター・リレーションズ、バート・ヴァン・</p>	

Lead Sponsors

Senior Sponsor

THE GLOBAL YEN BORROWERS



INVESTORS FORUM

16 September, 2009 • Okura Hotel, Tokyo

	<p>ドーレン氏 ドイツ農林金融公庫、シニア・ヴァイス・プレジデント&ヘッド・オブ・トレジャリー、シュテファン・ゲーベル氏 オーストリア管理銀行、アソシエイト・ディレクター、アニッシュ・グプタ氏</p>
13.10 – 14.25	<p>昼食 メイプルルーム I (南館 2 階)</p>
14.25 – 15.40	<p>パネル III: 欧州ソブリン: 激化する競争下の借り手の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ソブリン債のспредは危機前に比べどの程度拡大したか? 危機の影響が大きかった国へのプレミアムチャージが見られるか? 各国が打ち出した経済危機対応策はソブリン債の供給パターンをどう変えたか? ソブリンは質への逃避の恩恵を受けているのか? その巻き戻しによるダウンサイドリスクはあるのか? シンジケーション方式と比べ、オークション方式のメリットは? ソブリン発行体がディーラーに望むことは何か? 準ソブリン債の増加は政府発行体にどんな影響をもたらすか? 量的緩和が政府の債務管理政策に及ぼす影響とは? <p>議長: ユーロウィーク、アジア担当エディター、ステファン・ガートン氏 ユーロマネー・コンファレンス、エディター、マーク・ジョンソン氏</p> <p>講演者: ベルギー国債庁、戦略、リスクマネジメント、インベスター・リレーションズ担当ディレクター、ジャン・デブッチ氏 イタリア銀行、ディレクター、ヘッド・オブ・パブリック・デット・ディヴィジョン、セントラル・バンク・オペレーション・デパートメント、ステファノ・イアコベッリ氏 みずほ証券株式会社、金融市場調査部シニアクレジットアナリスト、石原 哲夫氏 フィンランド政府財政局、ファイナンス・ディレクター&ヘッド・オブ・ファイナンス・ディヴィジョン、テッポ・コイヴィスト氏 ポーランド財務省国債局、ヘッド・オブ・インベスター・リレーションズ・ディビジョン、ロベルト・ジーマ氏</p>
15.40 – 16.00	<p>休憩 メイプルルーム I (南館 2 階)</p>
16.00 – 16.15	<p>インタビュー: リーディング投資証券株式会社</p> <ul style="list-style-type: none"> 韓国と日本の金融市場間でのビジネスチャンスについて 発行体の、韓国企業および市場への関心 リーディング投資証券による、韓国金融商品の日本でのマーケティング計画 クライアントにアピールしそうな日本の金融商品と、リーディング投資証券によるマーケティング計画 <p>議長: ユーロマネー・コンファレンス、エディター、マーク・ジョンソン氏 講演者: リーディング投資証券株式会社、代表取締役副会長、朴 大革氏</p>
16.15 – 17.30	<p>パネル IV: 常連発行体による今後の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> 債券市場の条件は、常連の発行体による目先の発行予定債券の期間、利回り、ボリュームにどう影響するか? 為替の変動がスワップに及ぼす影響は? 現在の市場環境における円建て発行のメリットとは? 常連の発行体は、近々どんな条件で発行を計画しているのか? この1年間で日本の投資家向けに発行された債券のミックスはどう変化したか? 今後1~1.5年の間にどう変化するか? 最近の市場混乱期において、資金調達市場としての日本はどれほど重要だったか? 借り手の日本での調達の

Lead Sponsors

Senior Sponsor

THE GLOBAL YEN BORROWERS



INVESTORS FORUM

16 September, 2009 • Okura Hotel, Tokyo

	<p>割合に変化はあったのか？ 将来日本は資金調達観点からどれほど重要な存在になるのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> • 借り手が調達市場を選ぶ際の二つの尺度、コスト効率と戦略的分散のバランスは変わったか？
	<p>議長：ユーロマネー・コンファレンス、マネージング・ディレクター、アジア太平洋担当、ニック・ヘイワード氏 ブルームバーグ、アジア太平洋担当・コラムニスト、ウィリアム・ペセク氏 講演者：北欧投資銀行、ディレクター、資金投資、IR 副部長、ハンス・ヘレラップ氏 フィンランド地方金融公社、代表取締役副社長兼 CEO 代理、エサ・カッリオ氏 ノルウェー輸出金融公社、シニア・ヴァイス・プレジデント&ヘッド・オブ・ファンディング、マーティン・ミルズ・ヘーガン氏 ラボバンク、LTF ヘッド・アジア&オーストラリア、パトリック・ミッチェル氏 オランダ開発金融公社、トレジャラー、ヨブ・ヴァント・ヴェール氏</p>
17.30 – 18.30	カクテル・レセプション

ユーロマネー・コンファレンスは、会議の内容を変更・修正または会議そのものを中止する権利を有しています。当社は、講演者による講演及び配布物の内容に関して一切の責任を負いません。

尚、前述の発言の複製、模写、再発行及び再配布に関しても当社は責任を負いかねますのでご了承下さい。

Lead Sponsors



Senior Sponsor

